ビックキャブKIT（ケーヒンPE24/ハイフローフィルター）取扱説明書

製品番号	03-05-0223

適応車種	CRF50F　（AE03-1400001 ～）
	XR50R　（AE03-1000001 ～）

この度は、弊社製品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。
使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。
万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

◎イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合があります。予めご了承下さい。

☆ご使用前に必ずお読み下さい☆

◎取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、弊社は賠償の責を一切負いかねます。
◎当製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どの様な事柄でも一切負いかねます。
◎当製品を取り付けるにはスロットルパイプのストッパー部の加工を必要とします。なお、この加工によりアクセルリミッターの使用が出来なくなりますのでご注意下さい。
◎当製品の取り付けには上記適応車種にあった純正サービスマニュアルを参照し、確実に作業を行って下さい。
◎当製品は上記適応車種の車両専用品です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意下さい。
◎当製品を加工等された場合は、保証の対象にはなりません。
◎他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。
◎キャブレターは、天候・気温・自然現象及び車体差、キャブレターの個体差等によりセッティングを変更する必要があります。個々のエンジン、条件に合ったセッティングを行って下さい。なお、キャブレターは次ページの状態で出荷しております。

⚠ 注意　この表示を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

■作業等を行う際は、必ず冷間時（エンジン及びマフラーが冷えている時）に行って下さい。（火傷の原因となります。）
■作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。（部品の破損、ケガの原因となります。）
■規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行って下さい。（ボルト及びナットの破損、脱落の原因となります。）
■製品及びフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行って下さい。（ケガの原因となります。）
■走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みが無いかを確認し緩みが有れば規定トルクで確実に増し締めを行って下さい。（部品の脱落の原因となります。）
■ガスケット、パッキン類は、必ず新品部品を使用して下さい。また、再使用する部品については、よく点検し摩耗や損傷がある場合は、必ず新品部品と交換して下さい。

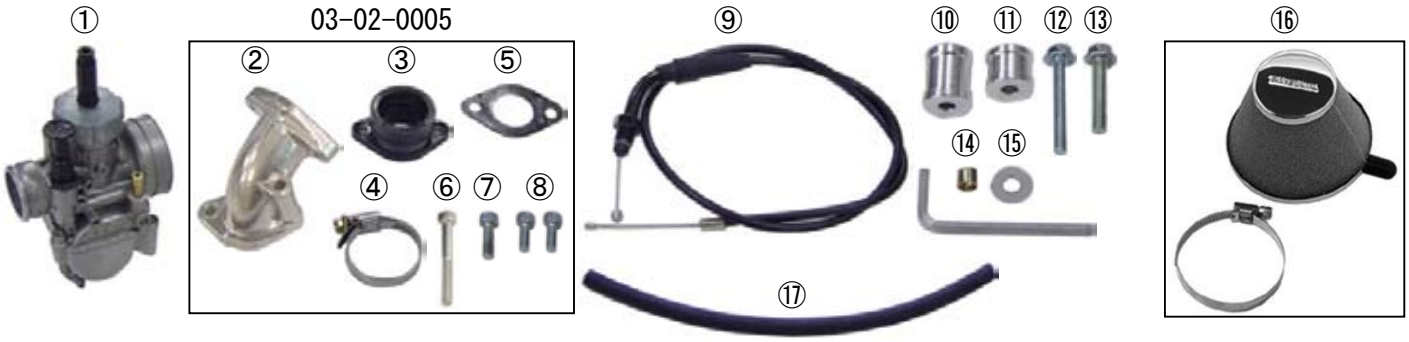
⚠ 警告　この表示を無視した取り扱いをすると人が死亡、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

■エンジンを回転させる場合は、必ず換気の良い場所で行って下さい。密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。（一酸化炭素中毒になる恐れがあります。）
■走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。（事故につながる恐れがあります。）
■作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行って下さい。（作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。）
■点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。（不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。）
■点検、整備等を行った際、損傷部品が見つかれば、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行って下さい。（事故につながる恐れがあります。）
■ガソリンは、非常に引火しやすい為、一切の火気を避け燃えやすい物が周りに無い事を確認して下さい。又、気化したガソリンの滞留は、爆発等の危険性がある為、通気の良い場所で作業を行って下さい。

◎性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で製品及び価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。
◎クレームについては、材料及び加工に欠陥があると認められた製品に対してのみ、お買い上げ後１ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。
但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。
なお、レース等でご使用の場合はいかなる場合もクレームは一切お受け致しません。予めご了承下さい。
◎この取扱説明書は、当製品を破棄されるまで保管下さいます様お願い致します。

株式会社 スペシャルパーツ 武川
〒584-0069 大阪府富田林市錦織東3-5-16
TEL:0721-25-1357 FAX:0721-24-5059 URL http://www.takegawa.co.jp

製品内容



番号	部　品　名	個数	リペア品番
1	キャブレター ASSY.	1	03-03-0074
2	インレットパイプ	1	――――――
3	インシュレーター	1	00-03-0209
4	バンド	1	00-00-0050
5	インレットパイプガスケット	1	00-03-0009（3 ケ入り）
6	ソケットキャップスクリュー 6x50	1	00-00-0727（5 ケ入り）
7	ソケットキャップスクリュー 6x20	1	00-00-0721（5 ケ入り）
8	ソケットキャップスクリュー 6x15	2	00-00-0718（5 ケ入り）
9	スロットルケーブル 710mm	1	09-02-0071
10	フューエルタンクフロントスペーサー 30mm	1	00-00-1467
11	フューエルタンクリアスペーサー 20mm	1	00-00-1469
12	フランジボルト 8x55	1	00-00-0198（4 ケ入り）
13	フランジボルト 8x40	1	00-00-0197（4 ケ入り）
14	カラー	1	00-00-0199（4 ケ入り）
15	ワッシャ	1	00-00-0201（6 ケ入り）
16	エアフィルター	1	03-01-1074
17	フューエルホース 200mm	1	00-03-0203（500mm）
	6 角棒レンチ 5mm	1	――――――

出荷時キャブレター状態

メインジェット	#108
スロージェット	#48
ジェットニードル	36S
クリップポジション	3 段目
スロットルバルブ	1SC
カッターウェイ	#3.0
エアスクリューオープニング	1-1/2

※リペアパーツは必ずリペア品番にてご発注下さい。
品番発注でない場合、受注出来ない場合もあります。
予めご了承下さい。
尚、単品出荷出来ない部品もありますので、
その場合はセット品番にて　ご注文下さいます様
お願い致します。

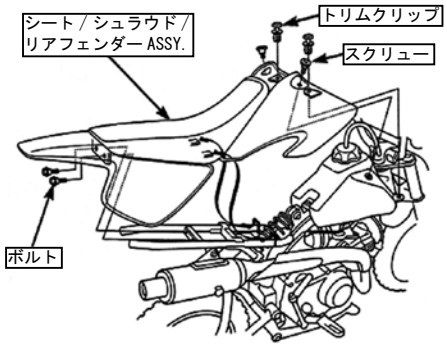
■取り付け要領　※特に記載の無い細部の取り付け方法や規定トルクにつきましては、純正サービスマニュアルを参照して下さい。

※水平で安全な場所で車両を安定させる。

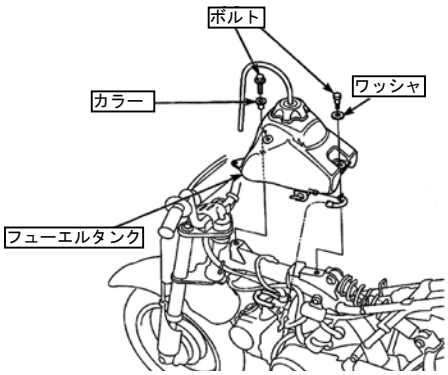
○フューエルコックを閉じ、キャブレターのドレンコックを開いてフロート室内からガソリンを抜き取る。

●外装を外す

○トリムクリップ 2 個、スクリュー 2 本、ボルト 2 本を取り外し、シート / シュラウド / リアフェンダー ASSY. を取り外す。



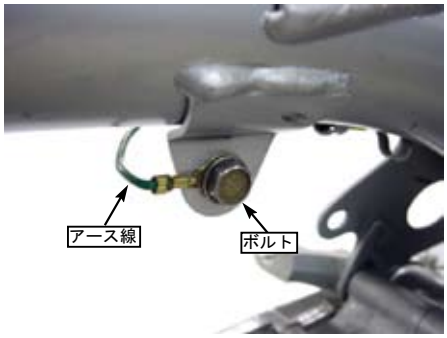
○キャブレターからフューエルホースを外し、ボルト 2 本を取り外してフューエルタンクを取り外す。



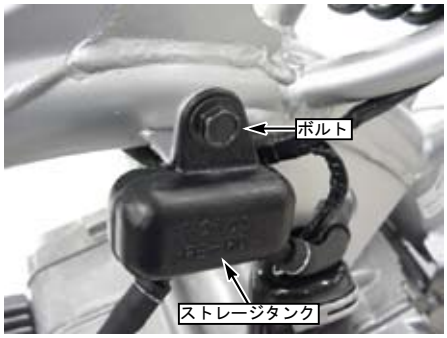
●キャブレターを外す

○キャブレターからトップキャップ、ストレージタンクのホース、エアクリーナーステーのボルト、マニホールドのボルト 2 本を取り外し、マニホールド / キャブレター / エアクリーナーを取り外す。

○アース線をエアクリーナーステー部のボルトでフレームに取り付ける。



○ストレージタンクのボルトを取り外し、クランクケースからブリーザーホースを抜いて取り外す。



■取り付け要領　※特に記載の無い細部の取り付け方法や規定トルクにつきましては、純正サービスマニュアルを参照して下さい。

●スロットルケーブルを外す

○スロットルケーブルの 6 角ナットを緩めておく。
○スクリュー 2 本を取り外し、スロットルハウジング、スロットルパイプをハンドルから取り外す。

○ロアスロットルハウジングからノーマルのスロットルケーブルを取り外す。

●スロットルケーブルを付ける

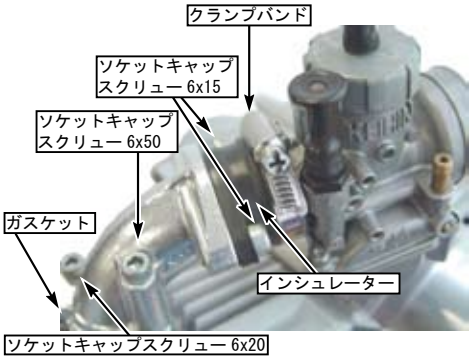
○スロットルパイプのストッパー部を加工し、取り除く。

○キット内のスロットルケーブルをロアスロットルハウジングに取り付ける。
○加工したスロットルパイプにインナーケーブルを接続し、スロットルハウジングをハンドルにスクリュー 2 本で取り付ける。
○スロットルケーブルの 6 角ナットを締め付ける。

●キャブレターを付ける

○シリンダーヘッドとインレットパイプの間にガスケットを挟み、ソケットキャップスクリューで締め付ける。
インシュレーターをインレットパイプにソケットキャップスクリューで締め付ける。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
ソケットキャップスクリュー
トルク：10N・m（1.0kgf・m）



○キャブレターをインシュレーターに差し込み、バンドを締め付けて固定する。
○キャブレターのトップキャップを外し、スプリング、ニードルクリップリテーナー、スロットルバルブを抜き取る。
○スロットルケーブルにトップキャップ、スプリング、スロットルバルブを取り付け、ニードルクリップリテーナーを取り付ける。

○スロットルバルブの切り欠き部をスロットルストップスクリューに合わせてキャブレターに取り付ける。
※スロットルを数回スナップさせ、スロットルバルブの開閉状態を確認する。

○エアフィルターを取り付け、バンドを締め付けて固定する。
○スロットルグリップ部で 5㎜ 程度遊びがあるようにスロットルケーブルのアジャスターを調整する。

○クランクケースからのブローバイガスの処理は各自で行う。
（例：ストレージタンクをエアフィルターが干渉しないように取り付け、キット内のブリーザーホースを使ってエアフィルターにブローバイガスを還元する。）

●外装を付ける

○フューエルタンクの前方にフレームとの間にフロントタンクスペーサーを入れ、フランジボルトを取り付ける。後方にフレームとの間にリアタンクスペーサーを入れ、カラーとキット内のワッシャを入れてフランジボルトを取り付ける。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
フランジボルト
トルク：26N・m（2.7kgf・m）

○シート裏の爪をフレームのフックに差し込み、シート / シュラウド / リアフェンダー ASSY. をトリムクリップ 2 個、スクリュー 2 本、ボルト 2 本で取り付ける。
※シュラウドを引っ張りながら取り付け穴をフューエルタンクのネジ穴に合わせてスクリュー 2 本を取り付ける。
取り付けにくい場合は、ヤスリ等で長穴加工をして下さい。

キャブレターセッティング要領

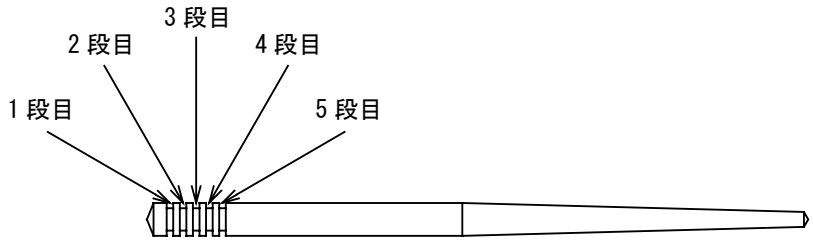
・キャブレターがエンジンに適合していない時のエンジンに現れる不調の原因は、混合気が濃すぎるか薄すぎるかの 2 つの原因に絞られます。
・エンジンに現れる不調の現象は次の通りです。

混合気が濃すぎる時	混合気が薄すぎる時
・爆発音が重い感じで断続する。 ・チョークを作動すると、より調子が悪くなる。 ・エンジンが暖機すると調子が悪くなる。 ・クリーナーを外すと調子が良くなる。 ・排気ガスが濃い。(黒い) ・プラグが黒くくすぶる。	・エンジンがオーバーヒート気味になる。 ・チョークを作動すると、調子が良くなる。 ・加速が悪い。(息付きをおこす) ・回転変動があり、力がない。 ・プラグが白く焼ける。

※キャブレターのセッティングは暖機後に行い、走行確認を行って下さい。又、プラグは適正な熱価の物をご使用下さい。
※エンジン回転後、スロットル開度等により、どの範囲でエンジンが不調になるかを考慮し、下記の要領でセッティングして下さい。

○ジェットニードル (スロットル開度 1/4-3/4)

加速時、スロットルに回転がついて来るか、来ないか
・息付きをする場合、濃くして下さい。
・回転の上がりが重く、排気ガスが黒い場合は薄くして下さい。
この開度での混合比は、E リングを入れる溝の段数で調整出来ます。E リング位置が 1 段目から 5 段目に下がるにつれ混合気は濃くなります。



○メインジェット (スロットル開度 3/4-4/4)

・この開度での混合比は、ジェットの番数を変えることにより調整出来ます。番数を上げると混合気が濃くなります。
・仕様等を考慮の上、最高回転数 (最高速度) の得られる物を選んで下さい。

○スロージェット / パイロットジェット (調整前にまずエアスクリューを調整して下さい。)

・エアスクリューの戻し量 3.0 回転以上の場合は、スロージェット / パイロットジェットを小さくして下さい。
・エアスクリューが全閉になる場合は、スロージェット / パイロットジェットを大きくして下さい。
パイロットジェットはアイドリングから低速運転時に、エンジン回転数がスムーズに立ち上がるか否かを確認します。
・回転上昇に谷が出来る場合、スロージェット / パイロットジェットが小さ過ぎます。(アイドル回転時)
・排気が濃く排気音が重い場合、スロージェット / パイロットジェットが大き過ぎます。(アイドル回転時)
・スロージェット / パイロットジェット交換時には、エアスクリューの再調整が必要です。

○エアスクリュー

エアスクリューはスロー系の空気流量を調整します。(アイドリング時)
・エアスクリューを右に回す→混合気が濃くなる。
・エアスクリューを左に回す→混合気が薄くなる。
標準戻し回転数 (1.5 回転) に合わせ、左右に 1/4-1/2 回転ずつ回しエンジン回転数が最も高くなる位置に調整します。
アイドルストップスクリューで安定したアイドル回転まで下げ、もう一度エアスクリューで最も回転数が高くなる位置に調整します。

●気圧、気温、湿度によるセッティングへの影響

・高地等で気圧が下がると空気密度が下がり、キャブレターへ吸入される空気量が減少します。この為、低地で調整されたキャブレターは混合気が濃くなります。
・非常に気温の低い天候下では、空気密度が上がる為、キャブレターの混合気は薄くなります。
・雨天の場合は湿度が上がる為、空気密度が下がりキャブレターの混合気は濃くなります。

株式会社 スペシャルパーツ 武川
〒 584-0069 大阪府富田林市錦織東 3-5-16
TEL:0721-25-1357 FAX:0721-24-5059 URL http://www.takegawa.co.jp